

平成20年度地域住宅モデル普及推進事業による展示住宅等の概要(平成22年度成果報告)

(とりまとめ団体名 : 一般社団法人
工務店サポートセンター)

事業者名:株式会社コアー建築工房

展示住宅等の建設地住所:大阪府和泉市青葉台3-32-21

事業者連絡先:072-239-2880

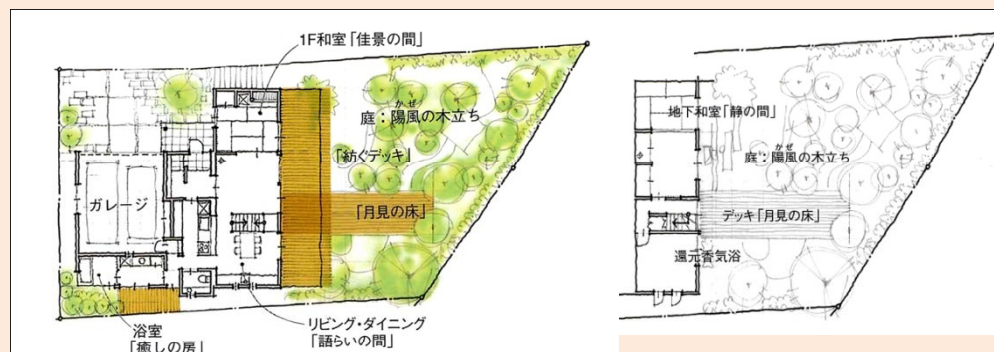
事業の種類:①展示住宅、②生活体験施設

総事業費: 4,600万円(うち補助金2,075万円)

基本性能等の基準:①新築(長期優良タイプ)、②新築(長寿命化普及タイプ)、③改修

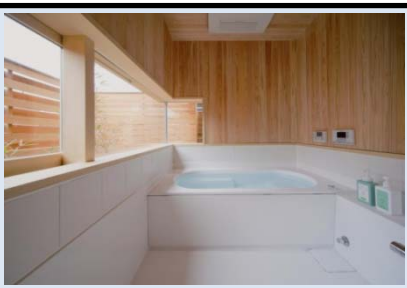


＜展示住宅・生活体験施設の平面図＞



＜展示住宅等の仕様等＞

- ①床面積:(地階)41.40㎡、(1階)73.61㎡
(ガレージ)29.60㎡
- ②外観:
屋根:銅板、破風:杉板、軒裏:杉板、
縦樋:塩ビ製、外壁:左官/そとん壁
- ③構造(部位毎の建材、寸法等):
地盤:湿式柱状改良、基礎形状:ベタ基礎
土台:桧、通し柱:紀州杉、管柱:紀州杉
その他構造材:紀州杉
- ④断熱性能:
屋根:カネライトフォームE-Ⅲ(A)75
壁:吹き込み用セルロスファイバー
基礎:カネライトフォームE-Ⅲ(A)75
気密材:気密シート
防湿材:透湿防水シート
- ⑤展示期間:平成22年4月～平成27年3月



＜展示住宅・生活体験施設の特徴＞

- ①地域で生産される木材の活用
構造材・羽柄材はすべて紀州杉、造作材は吉野杉を使用。住まいづくりが、少しでも山の活性化と環境保全に繋がれば、という思いから、大阪・堺から近い山(紀州材)を構造材に利用しています。
- ②気候風土に配慮した家づくり
土地固有の特性を調査しそれぞれの敷地にふさわしい家の在り方を見つけ、光と風を住まいに上手に取り入れます。
- ③普及性の高い展示モデル
余計なものをそぎ落とした家で、自然の光や風の移ろいを身近に感じ、訪れる人に、伝えたいことがそっと伝わるような住まいをつくります。

＜平成22年度の成果＞

- ①来場者数又は生活体験者数(平成22年4月～平成23年3月):825名
- ②来場者又は生活体験者の主な声:
○……自然に包まれているように気持ち良い(空気環境が良い)
○……風や光を感じる・木の家のぬくもりを感じる
○……子どもがのびのびと過ごしている